

Make The Next Quality

—— 未来品質を創造する ——



株式会社 ^{トゥエンティワン} ヒガシ21
HIGASHI TWENTY ONE CO.,LTD.

第96期 報告書

平成29年4月1日 ▶ 平成30年3月31日

株主の皆様へ



代表取締役社長
金森滋美

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。
さて、このたび第96期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の決算を行いましたので、事業の概況につきご報告申しあげます。

代表取締役社長 金森 滋 美

経営基本方針

「安全」と「安心」を大切にして物流事業を通じ社会に奉仕する私たちヒガシ21

経営理念

3つの使命

1. 商品・サービスの使命 …お客様・荷主様の満足する物流サービスを提供し、信頼の向上に努めます。
2. 社会的使命 ……良き企業市民として社会のルールを守り、地域に貢献、環境保全に取り組みます。
3. 経済的使命 ……社会、株主、社員の繁栄を図るため、常に経営基盤の強化・安定を図ってまいります。

事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国の経済は、政府の景気対策等の効果もあり、企業収益や雇用環境が改善するなど緩やかな回復基調で推移いたしました。米国、中国の政策動向や東アジア地域の情勢不安などによる海外経済の不確実性により、先行きの不透明感が残りました。

物流業界においては、輸送量は総じて堅調に推移したものの、人手不足に起因する人件費や外注費の増加並びに燃料価格上昇などのコスト上昇圧力は依然として高く、明るい兆しも見えつつ不安定要因が見え隠れする状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、新規顧客の積極的な開拓及び既存顧客への深耕拡大に努めるとともに、内部管理体制の一層の充実やコスト削減努力並びに安全対策にも注力してまいりました。また、当連結会計年度において、株式会社イシカワコーポレーションを100%子会社にすることにより、当社の車両、倉庫等を共同利用し効率的な事業運営の実現や当社営業網の活用が可能となり、事業拡大に向けての経営基盤を整えることが出来ました。

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は208億92百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は8億11百万円（同21.0%増）、経常利益は8億13百万円（同16.2%増）となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益については、5億1百万円（同6.6%減）となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

①運送事業

当事業につきましては、売上高は143億23百万円（前年同期比8.3%増）となり、セグメント利益は12億76百万円（同18.4%増）となりました。これは、事務所移転作業が増加したことによるものです。

②倉庫事業

当事業につきましては、売上高は44億44百万円（前年同期比11.0%増）となり、セグメント利益は6億92百万円（同12.6%増）となりました。これは、株式会社イシカワコーポレーションの完全子会社化により、倉庫作業売上が増加したことによるものです。

③商品販売事業

当事業につきましては、売上高は7億円（前年同期比21.2%減）となり、セグメント利益は2百万円（同84.5%減）となりました。これは、主に中古PC販売が減少したことによるものです。

④ウエルフェア事業

当事業につきましては、売上高は8億54百万円（前年同期比20.0%増）となり、セグメント損失は28百万円（前年同期は9百万円の利益）となりました。これは、事業拡大の為の人員採用により人件費が増加したことによるものです。

⑤その他事業

当事業につきましては、売上高は5億68百万円（前年同期比6.3%減）となり、セグメント利益は43百万円（同34.6%減）となりました。これは、大口得意先からの機密文書電子化サービス業務が収束したことによるものです。

対処すべき課題

当社グループは、平成27年6月に「長期経営ビジョン2025」を策定し、最初の3年間を「構造転換期」と位置づけ、「事業基盤の強化」「財務基盤の安定確保」「組織力の強化」に取り組んでまいりました。

その結果、従業員500名体制を早期に達成し成長分野に人材をシフトすることで、首都圏での基盤拡大、M&A、事業分社化による会社設立等によりグループ経営の基礎を固めてまいりました。

本年4月には「長期経営ビジョン2025」における次のステージとして「進化・成長期」の前半3年間をターゲットとした「新3ヵ年（中期）経営計画」を策定しております。

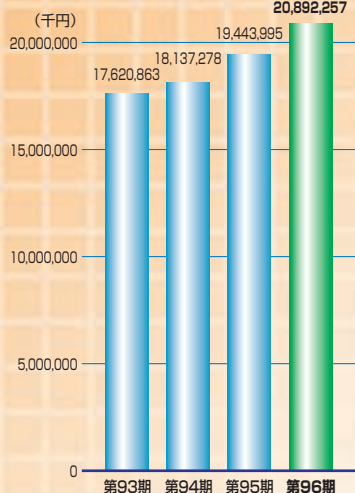
当社グループ従業員が一丸となって社会に真の満足をお届けできる会社を目指し、Make The Next Quality（未来品質の創造）をキャッチフレーズとした全社的品質向上施策を一段と強力に推進していくとともに、更なる企業価値の向上に向けて取り組んでいく所存であります。

尚、「新3ヵ年（中期）経営計画」の詳細につきましては、当社ホームページ（<http://www.e-higashi.co.jp>）「IR情報」に掲載させていただいております。

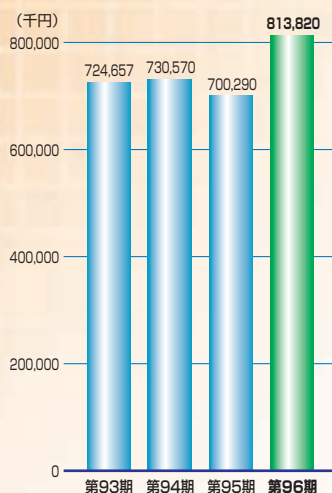
株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

決算ハイライト

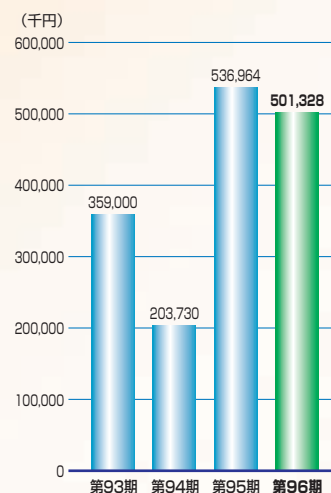
●売上高



●経常利益

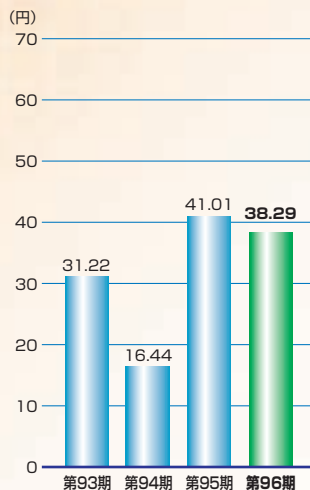


●親会社株主に帰属する当期純利益



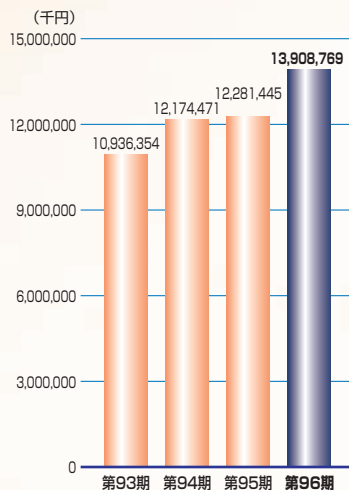
※なお、第93期以前は、当期純利益の数値を掲載しております。

●1株当たり当期純利益

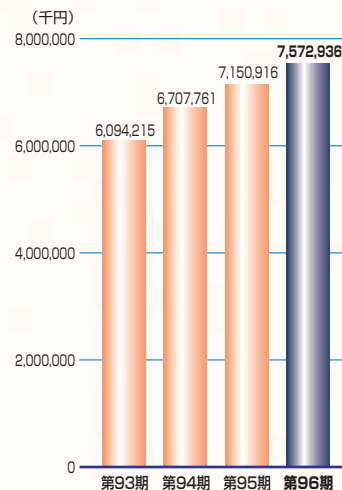


※平成27年3月1日付で、1株当たり2株の割合で株式分割を行っております。

●総資産



●純資産



(注) 1.千円単位の記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
2.当社は第94期より連結財務諸表を作成しております。第93期以前の数値に関しては、ご参考までに、個別財務諸表の数値を掲載しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表（要約）

(単位：千円)

科 目	第96期 (平成30年3月31日現在)	第95期 (平成29年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	7,017,370	5,885,985
固定資産	6,891,399	6,395,459
有形固定資産	5,230,278	5,217,779
無形固定資産	514,479	120,927
投資その他の資産	1,146,641	1,056,753
資産合計	13,908,769	12,281,445
負債の部		
流動負債	4,329,897	3,829,572
固定負債	2,005,936	1,300,956
負債合計	6,335,833	5,130,529
純資産の部		
株主資本	7,573,362	7,183,334
その他の包括利益累計額	△426	△32,418
非支配株主持分	—	—
純資産合計	7,572,936	7,150,916
負債及び純資産合計	13,908,769	12,281,445

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

第96期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	927,016	95,950	6,160,485	△116	7,183,334	44,606	△77,025	△32,418	—	7,150,916
当期変動額										
剰余金の配当			△111,300		△111,300					△111,300
親会社株主に帰属する当期純利益			501,328		501,328					501,328
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—	4,172	27,819	31,992	—	31,992
当期変動額合計	—	—	390,027	—	390,027	4,172	27,819	31,992	—	422,020
当期末残高	927,016	95,950	6,550,512	△116	7,573,362	48,779	△49,205	△426	—	7,572,936

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書（要約）

(単位：千円)

科 目	第96期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	第95期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
売上高	20,892,257	19,443,995
売上原価	16,967,847	15,920,879
売上総利益	3,924,410	3,523,115
販売費及び一般管理費	3,113,366	2,852,822
営業利益	811,044	670,293
営業外収益	57,494	52,636
営業外費用	54,718	22,640
経常利益	813,820	700,290
特別利益	—	64,598
特別損失	5,233	14,697
税金等調整前当期純利益	808,586	750,191
法人税、住民税及び事業税	327,491	248,112
法人税等調整額	△20,233	△34,884
当期純利益	501,328	536,964
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	501,328	536,964

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

(単位：千円)

科 目	第96期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	第95期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	857,986	724,577
投資活動によるキャッシュ・フロー	△631,776	△187,272
財務活動によるキャッシュ・フロー	348,641	△331,425
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	574,851	205,879
現金及び現金同等物の期首残高	2,289,979	2,084,099
現金及び現金同等物の期末残高	2,864,830	2,289,979

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表

貸借対照表（要約）

（単位：千円）

科 目	第96期 (平成30年3月31日現在)	第95期 (平成29年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	6,441,907	5,546,184
固定資産	7,247,314	6,587,904
有形固定資産	5,178,473	5,197,190
無形固定資産	175,725	120,927
投資その他の資産	1,893,116	1,269,786
資産合計	13,689,222	12,134,088
負債の部		
流動負債	4,235,645	3,744,783
固定負債	1,859,369	1,210,122
負債合計	6,095,014	4,954,905
純資産の部		
株主資本	7,545,593	7,134,565
評価・換算差額等	48,614	44,616
純資産合計	7,594,208	7,179,182
負債及び純資産合計	13,689,222	12,134,088

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

第96期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本										評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・ 換算差額等 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計					
					圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金						
当期首残高	927,016	95,950	95,950	77,530	75,091	5,320,000	639,094	6,111,716	△116	7,134,565	44,616	44,616	7,179,182
当期変動額													
圧縮積立金の取崩					△3,161		3,161	－		－			－
別途積立金の積立						100,000	△100,000	－		－			－
剰余金の配当							△111,300	△111,300		△111,300			△111,300
利益準備金の積立				11,130			△11,130	－		－			－
当期純利益							522,328	522,328		522,328			522,328
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）										3,997	3,997	3,997	
当期変動額合計	－	－	－	11,130	△3,161	100,000	303,058	411,027	－	411,027	3,997	3,997	415,025
当期末残高	927,016	95,950	95,950	88,660	71,930	5,420,000	942,152	6,522,743	△116	7,545,593	48,614	48,614	7,594,208

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書（要約）

（単位：千円）

科 目	第96期 (自 平成29年4月 1 日 至 平成30年3月31日)	第95期 (自 平成28年4月 1 日 至 平成29年3月31日)
売上高	19,970,476	18,973,075
売上原価	16,247,759	15,518,991
売上総利益	3,722,716	3,454,083
販売費及び一般管理費	2,929,870	2,774,548
営業利益	792,846	679,534
営業外収益	60,998	50,640
営業外費用	31,340	20,479
経常利益	822,504	709,696
特別利益	—	4,710
特別損失	5,233	11,782
税引前当期純利益	817,271	702,623
法人税、住民税及び事業税	316,049	232,312
法人税等調整額	△21,106	△13,351
当期純利益	522,328	483,663

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

事業の内容

① 運送事業

輸送サービス事業

近畿地区及び中部地区の新聞配送、ビールメーカー及び飲料会社の大阪中・南部地区の配送、製鋼所の非鉄金属の輪配送業務並びに一般荷主等の輸送業務を行っております。



新聞積込作業

事務所移転・引越事業

企業各社の事務所移転業務を受託しており、移転規模に合わせてプロジェクトチームが顧客の業務に支障をきたさないプランニングを行い、各官庁に対する諸手続きや移転前後の近隣対応等、事前・事後処理に関する業務までサポートしております。



日本生命丸の内ビル

静脈物流事業

全国の中間処理業者、産業廃棄物収集運搬業者をネットワーク化し、機密書類・OA機器等の回収サイクル化に応えられる体制を整えております。

また、オフィスの機密書類等の紙資源処理は、顧客の要望によりリサイクルボックスの設置及び回収業務、更には、全国各地で選定した製紙会社及び運送業者と提携して、ダンボール箱に詰めた機密書類を第三者の目に触れさせることなく溶解処理を実施しております。

回収からリサイクル処分が完了するまで責任を持って行うトータル物流システムにより、資源の再利用等の「環境負荷軽減」に対応した業務を提供しております。



製紙会社でのリサイクル処理

② 倉庫事業

保管サービス事業

製鋼所、家電商品メーカー及びコンビニエンスストアの物流センター等、個々の顧客の商品に適した保管・管理方法を提供しております。

また、在庫管理から物流加工、配送まで一貫した総合情報システムで顧客の物流基地としての機能を提供しております。



阪神総合物流グループ

ドキュメントサービス事業

国土交通省の認定を受けているトランクルームのセキュリティは、静脈認証システムやビデオカメラによる24時間監視体制の警備システムを整え、利便性と安全性を両立させた業務を行っております。

企業の書類（企業情報）や特別な管理スペースが必要なデータ類を保管し、お預かりした保管物は、保存期間が確認できる管理データの明細票を発行することで、必要な情報を随時お届けしております。保存期間が到来した機密文書等は廃棄（リサイクル）する等の一貫したシステムを採用することで、オフィススペースの有効活用を図るサービスを提供しております。

また、紙で保管されたままの文書や図面を、低コストで高品質かつスピーディーにスキャンングしてデータ化するデジタルソリューション事業にも取り組んでおります。



ドキュメントサービスセンター



③商品販売・その他事業

IT関連事業

PCが数台のオフィスから、全国数千台規模の大企業まで、お客様の環境に応じてPCをカスタマイズしております。機器の調達、キッティングから現地でのセッティングはもちろん、メンテナンス（保守支援）等、当社グループの物流インフラを活用してトータルにサポートしております。

また、PCデータのイレース（機密データの消去又は物理破壊、リユースシステムによる中古PC販売又はリサイクルシステムによる再資源化）事業を展開しております。



ビル内デリバリー事業

首都圏では、東京オペラシティ・六本木ヒルズ・表参道ヒルズ・仙石山ヒルズ・お茶の水ワテラスタワー・日本生命丸の内ビル・エステック情報ビル・神宮前タワービルディング、中部圏では、名古屋グローバルゲートタワー、関西圏では、グランフロント大阪南館・ニッセイ新大阪ビル・堂島アバンザ・新ダイビルにおいて、大型都市ビル内の快適な環境を守り、円滑なモノの流れを保つために、ビル館内での物品の搬出入を一括管理して共同配送することで、モノの流れを統括する物流システムを構築しております。

また、六本木ヒルズでは「ヒルズ21」というオフィスコンビニを運営しており、大型ビル内において便利で身近なサービスを提供しております。



六本木ヒルズ



東京オペラシティ

＜お知らせ＞

当社の成長領域と位置づけられるビル館内デリバリー事業につきましては、その事業の個性を自由に拡張、主体的かつ効率的に事業拡大を図る観点から、平成30年4月1日を効力発生日として、当社の100%子会社である株式会社FMサポート21に事業承継いたしました。

株式会社FMサポート21におきましては、当該事業に適した社内諸制度を確立し、専門性を持つ優秀人材の確保・育成や更なるお客様サービスの向上等を図り、市場競争力の強化に努めてまいります。

福祉用具レンタル事業

ベット・車椅子をメインに福祉用具のレンタル及び販売を行っております。

レンタル品は最新鋭の設備で洗浄・消毒・殺菌し、納品の際の作業員の作業服にも清潔・消毒を徹底、お客様に心地よくきめ細かいサービスを提供しております。



駐車場事業

物流事業で培ったネットワークを活かし、大阪・名古屋を中心に駐車場事業を展開しております。立体駐車場等の各地域に適した駐車場の運営管理を行っております。



ニッセイ淀屋橋駐車場



ヒガシバーキング(名古屋)

倉庫のネットワーク



株式の状況

(平成30年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式総数 13,094,194株
 (自己株式506株を除く)
 株主数 2,965名

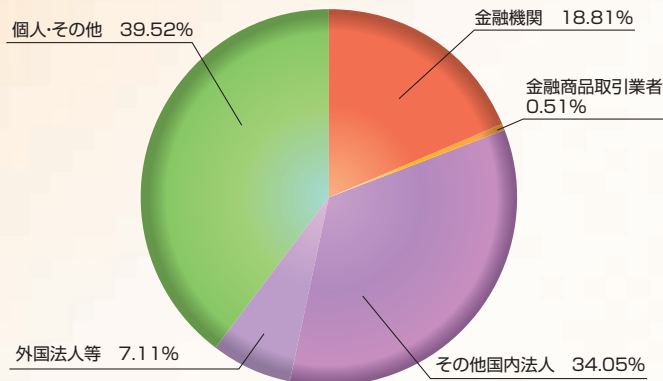
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率 (%)
関西電力株式会社	1,800	13.7
日本生命保険相互会社	1,040	7.9
星光ビル管理株式会社	938	7.2
株式会社毎日新聞社	700	5.3
東京センチュリー株式会社	540	4.1
株式会社みずほ銀行	520	4.0
株式会社西日本シティ銀行	520	4.0
ヒガシトゥエンティワン従業員持株会	511	3.9
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OMO2 505002	378	2.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	364	2.8

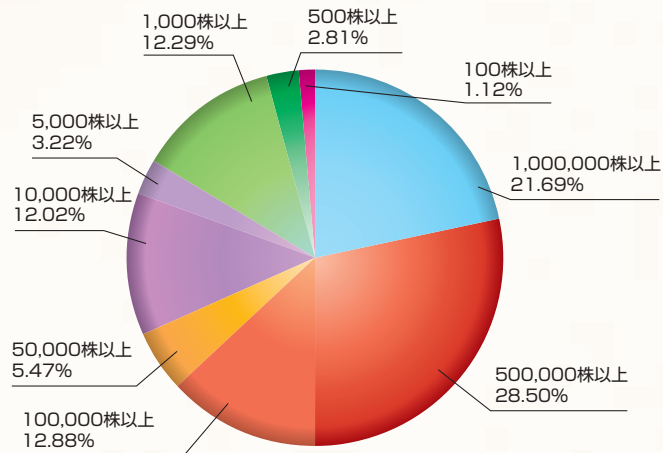
(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨て、持株比率は、自己株式(506株)を控除して計算し、小数点第2位以下を四捨五入して表示しております。
 2. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で株式会社三菱UFJ銀行に商号変更しております。

株式の分布状況

所有者別状況



所有株数別状況



会社概要

会社概要 (平成30年4月1日現在)

社名	株式会社ヒガシトゥエンティワン HIGASHI TWENTY ONE CO.,LTD.
設立	昭和19年12月
本社	大阪市中央区内久宝寺町三丁目1番9号 〒540-0013 TEL06 (6945) 5611 (代)
	●ホームページアドレス http://www.e-higashi.co.jp
東京本社	東京都港区新橋一丁目18番16号 日本生命新橋ビル9階 〒105-0004 TEL03 (6455) 7021
資本金	9億27百万円
主な営業種目	●貨物の運送並びに貨物運送取扱事業 一般貨物自動車運送事業 貨物利用運送事業 貨物軽自動車運送事業 ●倉庫業 ●重量物の組立て及び据付、運送 ●駐車場経営 ●日本郵政株式会社関連業務 ●IT関連事業 ●産業廃棄物収集運搬 ●福祉用具レンタル及び販売事業
従業員数	連結従業員数672名 (単体従業員数570名)

取締役及び監査役 (平成30年4月1日現在)

代表取締役社長	金森 滋美
取締役専務執行役員	平野 尚
取締役専務執行役員	福島 伸行
取締役専務執行役員	畠 秀一
取締役(社外取締役)	加藤 弘之
取締役(社外取締役)	江上 雅彦
常勤監査役	佐々田 剛
監査役(社外監査役)	向井 利明
監査役(社外監査役)	齊藤 善也

執行役員 (平成30年7月1日現在)

常務執行役員	西村 元伸
常務執行役員	横谷 哲郎
常務執行役員	田口 宗勝
常務執行役員	山田 寛
上席執行役員	原田 昌也
執行役員	大西 雅春
執行役員	島田 了

※取締役を兼務している執行役員については、除いております。

主要事業所 (平成30年4月1日現在)

●支店	札幌支店 仙台支店 横浜支店 名古屋支店 広島支店 福岡支店
●オフィスサービス事業部	東京オフィスセンター 名古屋オフィスセンター 西日本オフィスセンター ITサポートセンター
●サプライ・ソリューション事業部	イーストテクニカルセンター 東京総合物流グループ ドキュメントサービスセンター
●リテール・ソリューション事業部	SE物流グループ 東大阪物流グループ ウエストテクニカルセンター
●阪神ロジネット事業部	阪神総合物流グループ 郵便輸送センター 関電連絡便センター 阪神倉庫
●堺ロジネット事業部	堺総合物流グループ 西脇・姫路物流グループ
●京滋・多久ロジネット事業部	京滋総合物流グループ DSHグループ 多久ロジネットセンター
●名古屋ロジネット事業部	名古屋総合物流グループ
●輸送サービス事業部	大阪中央輸送センター 大正輸送センター
●茨木ロジネット事業部	茨木総合物流グループ 関電物流グループ
●NH事業部	NH営業室
●介護サービス事業部	関西レンタルオフィス 東海レンタルオフィス

グループ会社・関連会社 (平成30年4月1日現在)

ユートランスシステム株式会社
株式会社イシカワコーポレーション
株式会社FMサポート21
株式会社トランスポート21
株式会社ワールドコーポレーション

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主確定日

3月31日

中間配当金受領株主確定日

9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部

公 告 の 方 法 電子公告により行う

公告掲載URL <http://www.e-higashi.co.jp>
(ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じたときは、毎日
新聞に公告いたします)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いたします。



当社は、平成18年5月25日付けで、プライバシーマーク付与に関する認定を受けました。



当社は、8営業所で安全性優良事業所として認定を受けております。Gマークは優良事業所のみに与えられる「安全」・「安心」・「信頼」の証です。

トウエンティワン

株式会社ヒガシ21

■ 株主ご優待制度のお知らせ ■

当社では、株主の皆様からの日頃のご厚情に感謝の意を込めて、毎年9月30日現在の株主の皆様に対し、年1回、下記の基準により株主優待を実施いたします。

贈呈基準 所有株式数500株（5単元）以上保有の株主の皆様

優待内容 500株以上1,000株未満は1,000円、1,000株以上2,000株未満は2,000円、2,000株以上は4,000円相当のクオカードを贈呈。また、500株以上を1年以上継続保有（毎年9月末日の株主名簿に同一の株主番号で2回以上連続して記載された株主様を対象）いただいている場合、1,000円相当のクオカードを合わせて贈呈。

贈呈時期 毎年11月下旬から12月初旬頃の発送を予定

■ ホームページのご案内 ■

当社をよりご理解いただくためにも、是非ご覧ください。

ヒガシ21

検索

<http://www.e-higashi.co.jp>



この報告書は、環境に配慮し、植物油インキを使用しております。